

## 特許取得！ 特殊印刷技術「消しゴムで削れるスクラッチ印刷物」

お客さまのご要望を実現するために生まれた特殊印刷技術で、新たな価値を創出

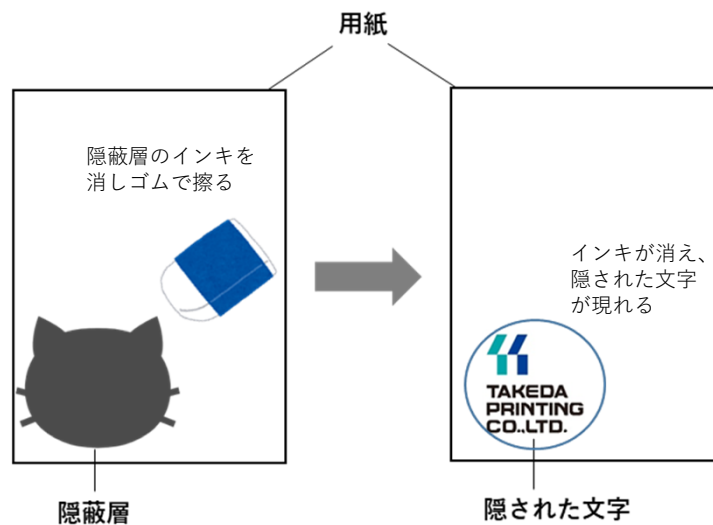
竹田印刷株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：細野浩之）は、「消しゴムで削れるスクラッチ印刷物」の発明により特許（特許第7829014号）を取得しました。本技術は、印刷された情報が視認できない状態になっている部分を消しゴムで擦ることで、情報を視認できるようにする特殊印刷技術の特許です。印刷業界においても前例のない画期的な技術として、様々な分野での活用が期待されます。

### ■開発の背景

開発のきっかけは、お客さまからの「謎解きイベント用に消しゴムで消すと塗りつぶされたデザインから文字が現れる仕掛けを実現できないか」というご相談でした。しかし、既存の技術では実現が難しいことが判明したため、当社独自の特殊印刷技術の確立を目指して、自社での開発に着手することとなりました。

### ■開発の概要・技術のポイント

従来のスクラッチ印刷物はコインなど硬いもので削る必要がありましたが、今回開発した印刷技術では、一般的な文房具の消しゴムで情報を隠している層（以下、隠蔽層）を簡単に取り除くことが可能です。折り曲げたり、硬いものが隠蔽層に当たったりしてもインキが剥れない点も特徴となっています。開発にあたっては、過去に手掛けた商材の経験から着想を得ました。この技術では、任意の箇所を削がしやすくするために特殊なインキを使用します。印刷された情報の上に塗料を組み合わせた特殊なインキを塗布して表面を保護し、その上に通常のインキで隠蔽層を印刷する構造を考案しました。この構造により、隠蔽層のインキを消しゴムで擦ることで簡単に除去できる印刷物を実現しました。



### 「消しゴムで削れるスクラッチ印刷物」 3つのポイント

#### ①消しゴムで削れる利便性

硬貨などの硬いものを準備する必要がなく、一般的な文房具の消しゴムで隠蔽層を削ることができます。

#### ②高い耐久性

従来のスクラッチ印刷物と異なり、硬いものとの接触や折り曲げによる隠蔽層の剥離が発生しません。流通過程での管理が容易になり、ユーザーにとっても取り扱いやすくなります。

#### ③表現の自由度

特殊なスクラッチインキを使用せず、通常のオフセット印刷で製造できるため、通常の印刷物とほぼ同様の工程で製造が可能です。隠蔽層のデザインや色の自由度が高く、線画、イラスト、文字、写真など多様な表現に対応できます。

